

第5回

地域包括支援センター展勝地

圏域内介護支援専門員研修会報告

平成30年12月11日10:00～

口内地区交流センター アリーナ

参加者

- ① やちだもの家北上ケアプランセンター
- ② 介護相談センターふたご
- ③ エスカール在宅介護支援センター
- ④ 居宅介護支援事業所浮牛の里
- ⑤ 八天の里在宅介護支援センター
- ⑥ グループホームやちだもの家北上
- ⑦ グループホームくちない
- ⑧ グループホームさらき
- ⑨ 看護小規模多機能居宅介護きずなの森
- ⑩ 地域密着型特別養護老人ホーム浮牛の里
- ⑪ 特別養護老人ホーム八天の里
- ⑫ 地域の支援者：民生委員、社協支部職員、駐在
- ⑬ N P O 法人
- ⑭ 障がいサービス事業所
- ⑮ 行政・他地域包括

①前回の振り返り～「認知症について」

講師：及川脳神経内科クリニック 及川 深雪 医師

- ・ 認知症の疾患ごとの症状（どのような周辺症状がみられるか）
- ・ うつ病、せん妄と認知症の鑑別
- ・ 受診拒否される方の支援

②講演「精神疾患について」

講師：岩手中部保健所 保健師 佐賀 唯衣 氏

- ・ 精神疾患とは
 - うつ病
 - 統合失調所
 - ひきこもりについて

グループワーク（テーマ2つ）

1. 「家庭訪問や相談支援を行う上で、精神障害・精神障害と思われる方の対応（ご本人・ご家族・親族）で悩んだこと、困ったこと」

①グループ

- ▶ 何十年前から、トラブルのある方、ご近所80歳の事例。
- ▶ 妄想...人が入ってきて物を盗っていく。反論した人をターゲットにしていく。
- ▶ 私はうそをついていない！「助けて、怖い」との声も出ている。
- ▶ 病院には行っていない様子。
- ▶ キーパーソンである息子もこの事態をわかっているが...
→出来の良い息子はSOSを出せない。人と交わるのが元々不得手。
- ▶ 妄想→そこに共感し、肯定も否定もせず。
- ▶ 妄想性障害→心配でそう感じる
薬が効かない。もともとの性格。疑い深い。
眠りが浅い→不眠薬...
- ▶ 統合失調症→本人にはそう見えている。

グループワーク

②グループ「認知症についての困りごと」

- ▶ ・うつ病か統合失調症の違い、見分け方が難しい。
- ▶ 地域でも似たような方はいるか？
- ▶ →そう見える方はいるが、どうかかわっていいのかわからない。専門職に任せたい。
- ▶ ・顔はわかるが、名前は知らず他人。口内地域は家族の繋がかりから様子を伺うこともできるので、→依頼を受ければ、内情はわかるが、隠れている方を見つけるのが難しい。
- ▶ ・民生委員を頼りにしている。→誰を頼るかを明確にするべき。
- ▶ ・相談を受けるより、アクションしたいと思う。
- ▶ ・ケースバイケース、一人暮らしだと関わりやすい。ご家族がいる場合は、任せたい。
- ▶ ・家族の背景も重要。→価値観や生活歴など
- ▶ ・家族が求めているとき、どう対処したらよいかわからないことがある。周囲がみると問題がある家庭への手出しが難しい。→家族の中ではバランスがとれていることもあるかも。
- ▶ ・相談する場所をこのような場で知ることが大切。
- ▶ ・心から話せるキーパーソンを見つけることからしていきたい。
- ▶ ・精神疾患の方はどうやって通院しているか？

グループワーク

- ▶ →本人はかなりの勇気を持ってきただろうが、うまく対応できなかったことがある。
→さりげない言動による影響が大きい。
- ▶ ・信頼関係を作っていくことが大切。
- ▶ ・しっかり通院し続けてもらいたい。
- ▶ ・病院から地域までしっかり繋がるネットワークが不可欠。
- ▶ ・地域が病気を理解する。

グループワーク

③グループ

- ▶ ・沿岸から北上市に住所を移した。住まいを移したことで、捨てられたと感じてしまっている。娘と同居して互いに責め合っている。火に油を注いでしまっている。
→デイサービスに通所しているが、土日喧嘩をして家出してしまう。
- ▶ →お互いの言い分を同じ人が聴く。→おばあちゃんの思いを聴くのはケアマネ。でも家族とすれば、ケアマネはおばあちゃんの肩を持つと思っているかも。
→包括・市など
- ▶ →家の中で役割あればいいかも。（日中、海に行つて網作りなど）
- ▶ 駐在所巡回してくれている。→かまえられる。コロッと変わる。
→近所の人から聞いていたことと違う。
→探りながら→ポイント！回数を重ねる。
- ▶ デイサービスでは穏やか。直接電話はない。メールが来たんだけど相談がある。
- ▶ ・老夫婦介護している妻がうつ？夫が心配している。→病院受診して病状安定。
- ▶ ・精神疾患と感じた場合、いふべきか悩む。→特に担当している人の家族。
- ▶ ヘルパー時代、すぐ後ろにスコップを持っていた。訪問時包丁で刺そうとしていた。
→なぜ？と聞いたら、「天の声が殴れ」と言ったとのこと。
- ▶ 対応：背を向けない。逃げる。逃げ道を確保、イメージする。ヘルパー二人で訪問。
- ▶ 対応：幻覚を認めない。相手の辛さに共感する。→難しい。
- ▶ 「天の声は私には聞こえなかった。何て言っていたんですか？」と聞くと見捨てられていないと思ってくれる。
- ▶ 駐在さんは緊急時の対応になる。男性だけでなく、女性も力が凄い！
- ▶ ・家族全体を支えていく必要がある。
- ▶ ・受診を勧めるタイミングが難しい。→特に担当している方の家族。

グループワーク

④グループ

- ▶ ・ご本人が窓口相談「電波がとんでくる」と本人も辛そう。ご家族と連絡をとり、病院に連れていくことになったが、本人に病識がない。保健師に話してもらい、病院に繋げて入院になったが、それでよかったのか...
- ▶ ・ご近所トラブル。作物に何かかけられる。本人にどう伝えるか。
- ▶ →「最近眠れないんじゃないですか」「包括の人が来てる」と周りに思われるのは嫌？
- ▶ 信頼している駐在さんに視てもらおう。近所にとけこむためにどうしたらよいか。
- ▶ ・職場で部下がパソコンできないと拒否反応→もともと得意だったのに画面見れない。
- ▶ 1週間休むように伝えると涙。妻が看護師で「薬飲めば大丈夫」と半年たっても変わらない。どうしたら...。精神科に行くことに抵抗がある？その気持ちを変えていかないと。
- ▶ →カウンセリングによって自分で気づき受診したいと思うことも。職場でフォローしていると本人困っていない？
- ▶ 妻3人目出産したばかり→妻が相談できる相手がいるか...
- ▶ ・90歳以上寝たきりの方の家族でひきこもり。訪問した時に、部屋にカメラを置いてみている。栄養・薬剤の指導をしても自分で調べたことを一方的に話す。
- ▶ ・夜に頻回に相談の電話がある。ちょっとしたこと心配になる。話を聴いてほしい。24時間対応。法事とか関係ないことも。対応が大変。→入院して治療して良くなった。
- ▶ ・本人はどう思っているのか？家族にどうかかわっていくか？いきなり専門家来ても困る？職場で困っていることを家族に伝える。本人に家族と話したいと伝える。
- ▶

グループワーク

⑤グループ

- ▶ ・本人だけが対象かと思っていたら、家族みんながそうなのか？ということもあった。
- ▶ ・認知症ではないかという情報で訪問したが、認知症なのか？精神なのか？男性だったりすると怖いなど感じることもあり、1対1はちょっと...
- ▶ ・自分たちだけで見ただけではわからないこともある。認知か？精神か？家族の話。家族の前での様子と自分たちとの会話の時の様子が違うことがある。
- ▶ ・夫への妄想→本人ではなく、夫が病気だったということにして、妻本人の薬を出してもらったが、連携うまくできていなかったため、本人服薬できない状況になってしまった。関わった人たちへの不信感強く、その後の関りができなくなった。
- ▶ ・本人・家族の同意がないと入院できない。→本人・家族を反対に追い込むこともあるのではないかな。
- ▶ ・家族からかかわってほしいというアクションがないと入っていきにくい。
- ▶ **※佐賀先生からの助言！認知か？精神か？→症状が始まった年齢！妄想の種類！**

⑥グループ

- ▶ ・地域の集まりになかなか来ない人はもしかして病気があったりするかも...
→同声をかけたらよいか...
- ▶ ・身近な民生委員には、家族だけで支えているのか、相談がなかなかない。
→市に支え手が倒れたり、いなくなったことで、相談に繋がるケースもある。
- ▶ ・ゴミ屋敷やお部屋が汚れていたりしても、本人や家族が気にしていないので、なかなか介入・支援しづらい→に達するまでみなどうしているの？

▶ ⑦グループ

- ▶ ・訪問しても家から出てこない→ふれデイなど声掛けしている。
- ▶ ・自宅から出なくなると→おっくうになって→ますますでなくなる。
- ▶ ・65歳以上だと介護保険の申請になるが、それより若い方だと訪問してよいものかどうか。
- ▶ ・本人がSOSを出せるか、本人の自由なのか、どこまで踏み込んでよいものか、家族にも隠してしまう。
- ▶ ・介護がきっかけで支援者と繋がったり、就労に繋がったケースもある。
- ▶ ・民生委員さん、地域だからこそ知られたくないという思いもある。民生委員と包括の関係性が大切。
- ▶ ・家族支援、この人にはこの担当者のように、世帯に何人か支援者が入れたら...お金の問題等。
- ▶ ・市役所、保健所、包括、社協など窓口があると繋がりがやすい。
- ▶ ・内服薬でも改善するケースもある。→病院にもつながらない方はどうする？
- ▶ ・どこの地域にも、問題は同じようなケースである。

次回開催案内

- ▶ 場所：更木地区交流センター
- ▶ 日時：平成31年2月19日（火） 10:00～11:45
- ▶ 講演：「低所得者支援について」

情報提供：

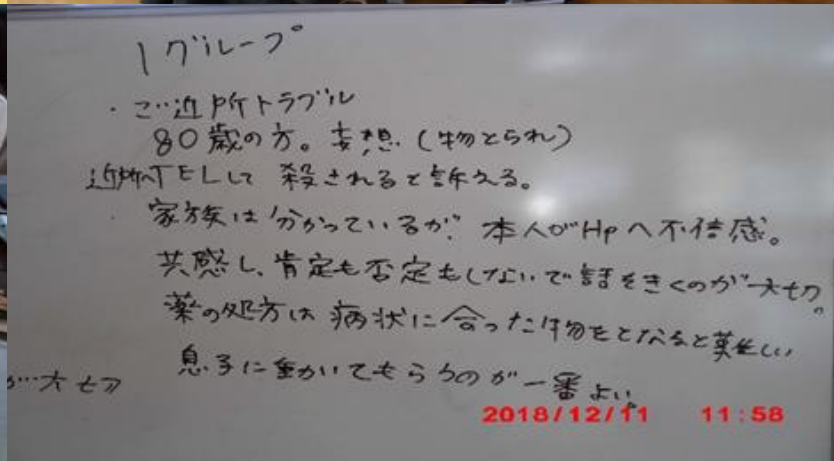
- ▶ なんでも心配ごと相談センター
- ▶ 暮らしの自立支援センターきたかみ
- ▶ 北上市医療介護連携支援センター
- ▶ 北上市保健福祉部福祉課生活保護係
- ▶ 北上市保健福祉部国保年金課公費医療係
- ▶ 弁護士（予定）

グループワーク

「低所得者の支援について」

圏域内介護支援専門員、関係機関、コミュニティソーシャルワーカー、ケースワーカー
医療ソーシャルワーカー、地域の支援者など

研修の様子



第5回地域包括支援センター展勝地圏域内研修会アンケート結果

●参加者 39 名中 25 名回答

① 今日の研修についてはどうでしたか？当てはまるものに○をつけてください。

1. 良かった 22 名 2. まあよかった 3 名 3. あまりよくなかった 0 名 4. よくなかった 0 名

※上記を選択した理由(今日の感想も含めて)

・精神障害についての説明がとても解りやすく良かった。ケアマネさんや民生委員さんと情報交換する機会が少ないので、いろいろなケースや対応方法を聴けたのが良かった。

・地域で支える動きが見えたことで、口内全体で支えていきたいと改めて思った。

・精神疾患について話し合うことがなかったため、周りの方の話を聴いて対応について参考になった。

・幅が広くてなかなか苦手意識があったので、今日の研修で理解を深めることができた。現場で起きていること…身の危険と隣り合わせで働いていると聞いて、自分の危機感が低いと感じた。

・精神疾患について理解することができた。どう接するか、必要な支援に繋げていけるかが難しいなと感じた。

・地域性もあるのか、いろいろ精神と思われる方への対応で悩んでいることが知ることができた。

・かかわり方についての方法…今後も学びたい。

・精神疾患について相談窓口がどこか知ることができた。

・先生の説明がわかりやすく良かった。今後の参考にできると思った。

・自分が担当していた方も精神病だったが、通院できずにどうしたらよいか悩んだことがあった。今回の研修とても参考になった。もっと早く知っていれば…

・どういう病気があるのか、これが病気なのでだとかわかった。地域のこともわかって良かった。

・いろいろな事業所の方と顔を合わせて話ができて良かった。

・精神疾患と症状について再確認出来た。口内の資源を知ることができた。

・多職種の意見が聴けて良かった。グループの分け方も良かった。

・精神疾患の方に対する接し方など学べて良かった。今後活かしたい。

・この研修会で経験の豊かな皆さんの意見を聴くことができて参考になった。

・精神の方の関りを学ぶことができてとても参考になった。

・各地区での訪問時の問題点など、共有できて良かった。

・いろいろなケースがあることに改めて学習した。

・佐賀さんの説明がとても解りやすく、対応の仕方などとても参考になった。

・うつ病の人に会ったことがないので勉強になった。

・このような機会が解っただけでも良かった。いろいろな話し合いの中で、自分の所だけでなく、

どこにもある課題なんだと思った。

・参考になった。

② 連携したい事業所・関係機関などありましたらご記入ください。

1. 今回多くの事業所、関係機関に参加いただき、充実していた。継続してほしい。 2回答

2. 民生委員、地域包括支援センター、地域の方々。 2回答

3. 開業医 4. 弁護士 5. 警察

6. 自分の職種の分野外の方々

※3～6までそれぞれ1回答

③ 今後研修したいテーマ、その他聴きたい講演会・講師などありましたらご記入ください。

① 生活保護、低所得者支援について

② 病気についての知識(昔はこれでよかったけど、現在してはいけないなど)

③ 高齢の障がい者の対応について

④ きぼうノートの活用方法(実際に使っている方がいるのか)

⑤ 精神疾患への対応。一人一人が別ではあるが、対応の仕方にどんな方法があるのか教えてほしい。

⑥ 寝たきり老人の生活について

⑦ 市・社協

④ その他、現在悩んでいることなど何でもご記入ください。

・家族への伝え方、どう病状を伝えるか、医師にお願いしたほうが良いかなど。

・対応の方法。

・今後も同じように情報交換できる場を設けていただければありがたい。

・その都度、包括へ相談できるのでありがたい。

⑤ 事例検討したいケースはありますか？○をつけてください。

1、ある 3回答 2、ない 16回答 無記入 6

⑥ 「1、ある」に○をした方で、個別にケース会議を希望される方は○をつけてください。

1、会議をしたい 0 2、会議をしたい 0 3、会議はしないが相談はしたい 2回答